

3 交通支援

③ デマンド型申込みバス「もーびー」の運行

☞ 市町村による買い物支援の取組

【美幌町】（オホーツク総合振興局管内）

■ 取組の背景

美幌町では、路線バスの見直しにあわせ、より多くの町民が利用できる公共交通、生活の足を確保しようと令和4年4月から1年間の実証運行を実施し、毎月の乗車実績が多かったことを受け、令和5年4月から本格的な運行を開始しました。

「もーびー」の名前は、「申し込み」＋「美幌（びほろ）」をかけあわせて名付けました。

町では、年間約760万円でこの取組を行っています。

■ 取組の概要

美幌町では町内のハイヤー会社に運行を委託し、8人乗りワゴン車1台で毎日10時から15時まで申込を受付しています。

運賃は一律300円（小児150円、障がい者割引有）となっています。

申込は、利用者が専用番号に電話をかけて、氏名、乗車バス停、降車バス停を伝えると、オペレーターからバス停到着予定時刻が伝えられ完了となります。利用者は、指定された時刻に合わせて乗車バス停で待機します。運賃は乗車時に支払います。

乗車バス停は、既存の路線バス用と「もーびー専用」を合わせて、町内108カ所（常設104カ所、試行4カ所）を設置し、利用者の利便性を図っています。

令和4年度の乗車実績は、延べ約3,800人で、月当たり約320人、令和5年度は2月末時点で延べ約4,500人で月当たり約410人となっています。

■ 取組のポイント

前述のとおり、運行に当たっては、乗車バス停を町内100カ所以上に設置し、きめ細かに運行することで利用者の利便性の向上を図っています。

このため、これまで路線バスが運行していなかった地域へも運行することができることや、路線バスと異なり、乗車バス停から降車バス停までを最短距離で運行することにより乗車時間が短縮されることで、町内スーパー、病院へのアクセス向上が図られました。また、車両後方には、シルバーカーを積むことが可能なスペースがあり、荷物を積む十分なスペースを確保しています。

主な利用目的は、買い物と通院であり、特に買い物に関しては、町内の主要なスーパー3店の入口前に乗車バス停を設置するなど、買い物が便利にできるよう配慮しています。

■ 今後の展開

利用者は順調に推移していますが、乗り合い率の向上と利用者の固定化が課題となっています。今後は、それらの課題解決のため、ニーズをしっかりと把握しながら更なる利便性の向上を目指していきます。

